

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2022年8月9日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

2日目

### 令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

|       |                           |         |              |           |  |
|-------|---------------------------|---------|--------------|-----------|--|
| 団体名   | 旭川市                       | 代表者名    | 今津 寛介        |           |  |
| 担当者部署 | 総務部                       | 連絡先電話番号 | 0166-25-6205 |           |  |
| 担当者役職 | 一般職(主任)                   | 担当者氏名   | 水沢 悠         | 連絡先E-mail |  |
| 住所    | 070-8525 北海道旭川市6条通9丁目46番地 |         |              |           |  |

##### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

#### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| アドバイザー                      | 東 富彦  |
| 評価                          | 大変よい  |
| 上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に) | 人口減少等の背景がある中、旭川市や中津市の具体的な現状分析から自治体DXの必要性について説得力のある説明があり、研修受講者から「自治体DXの必要性を理解できた」と高い評価がありました。また、自治体DXの具体的な取り組み方について、自治体職員が理解しやすい形での説明があり、研修受講者から「具体的なイメージを持つことができた」と高い評価がありました。旭川市のDXチームのほか、多くの職員が進むべき方向のイメージを持つことができたため、「大変よい」といたします。 |
| アドバイザーへの要望事項                | 本当に勉強になる素晴らしい内容でした。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。  |

#### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

|             |               |             |              |         |          |
|-------------|---------------|-------------|--------------|---------|----------|
| 3-1. 対応日・時間 | 派遣日予定日(申請書より) | 支援内容(申請書より) | 期日・支援内容の変更あり |         |          |
|             | 2022年8月2日     | 講演(実地)      | 無            |         |          |
|             | 実施した派遣日       | 実施した支援内容    | 開始時刻         | 終了時刻    | 内休憩時間(分) |
|             |               |             | 10時30分       | 17時00分  | 60       |
|             |               |             |              | 活動時間(分) | 330      |
| 3-2. 派遣場所   | 会場名           | 旭川市役所(実地)   | 最寄駅          | 旭川駅     |          |
|             | 所在地           | 旭川市6条通9丁目   | 最寄駅からの交通手段   | 徒歩      |          |

#### 4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

#### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

|  |  |      |
|--|--|------|
| 5-1. 支援を受けた対象者                                   | 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】  | 人数   |
|  | 旭川市職員(研修受講者, DX推進担当, CDO)  | 74 人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 |  |      |
| 事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)                            | これまでも職員が主体的に業務改善に取り組んできたところですが、4月にCDOを設置し、更に組織内の意識を高め、着実にDXを推進することを目指しています。こうした中、第1の課題は、「なぜ自治体にDXや業務改善が必要なのか」組織で統一したマインドセットを持つことで、全職員の力を引き出し、結集できる組織にすることです。第2の課題は、行政サービスの高度化・効率化を目指すためにノーコードツールの活用を推進する予定ですが、その具体的なノウハウが不足していることです。 |      |
| 支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)                           | ・幹部を含む職員が「なぜDXや業務改善が自治体に必要か」を認識すること、<br>・幹部を含む職員がノーコードツールを活用する目的や成功イメージを認識すること、<br>・DXチームが本市に最適なノーコードツールを選定し、具体的な戦略を持って導入することを目指します。   |      |
| アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)                      | ・DX推進についての対面意見交換(旭川市DXチーム, 旭川市CDO, 東氏),<br>・DXの先進市である中津市の職員(オンライン参加)との情報交換機会の設定,<br>・全庁職員向けの特別研修「中津流DX-全職員で取り組んだDXの成功事例-」(対面及び複数会場のオンライン開催)の講師<br>を開催又はお引き受けくださる形で支援を受けました。  |      |

|   |  |                 |
|---|--|-----------------|
| 支援を受け改善又は解決された内容<br>(具体的にご記入下さい)              | <ul style="list-style-type: none"> <li>DXチームがノーコードツールや組織の機運醸成などDXの進め方のイメージを持ったこと、</li> <li>全庁職員向けの特別研修「中津流DX-全職員で取り組んだDXの成功事例-」の受講者から、講師の分析や考え方から自治体DXの必要性を認識したことや、具体的で取り組みやすい中津市の事例を聞くことでDXの具体的な進め方のイメージができたことについてフィードバックがあったこと(研修満足度100%)</li> </ul> など、具体的に職員の意識が改善し、ノウハウ不足解決に向けて大きく進むことができました。 |                 |
| 具体的な成果物                                       | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。  | ⑦その他            |
| 改善又は解決されなかった内容<br>持ち越しとなった内容<br>(具体的にご記入ください) | 本市に最適なノーコードツールの選定については、キントーンの試行等の状況も踏まえて、第3回までの全ての支援を受けてからとなります。   |                 |
| アンケートの内容と分析結果                                 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。<br>受講者の研修満足度を「大変良かった」「まあ良かった」「やや悪かった」「悪かった」の4段階で図ったところ、「大変良かった」と「まあ良かった」が100%を占めた。自治体DXの必要性や具体的なイメージが持てたとの内容が多く寄せられ、機運醸成効果も極めて高かった。   |                 |
| 5-3. 今後の計画                                    | 最も当てはまるものをリストより選択下さい   | ②次年度に予算化を図り推進する |
| 事業の最終的な目指す姿                                   | 組織内で自治体DXの必要性について統一したマインドセットを持ち、全職員が参加して行政サービスの高度化・効率化を目指す。その手段のひとつとしてノーコードツールが庁内で広く活用されている。   |                 |

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。  
 なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

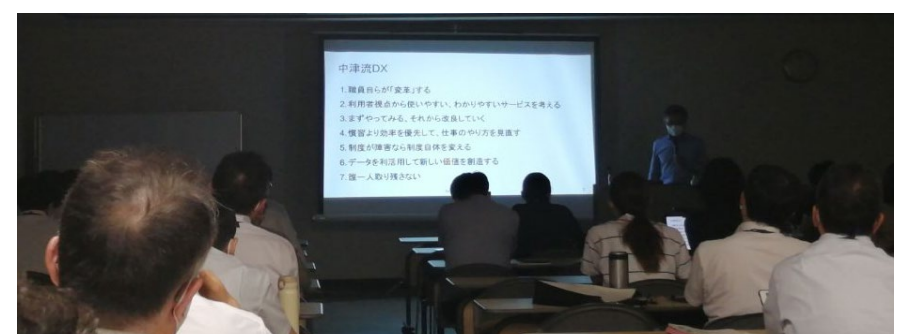
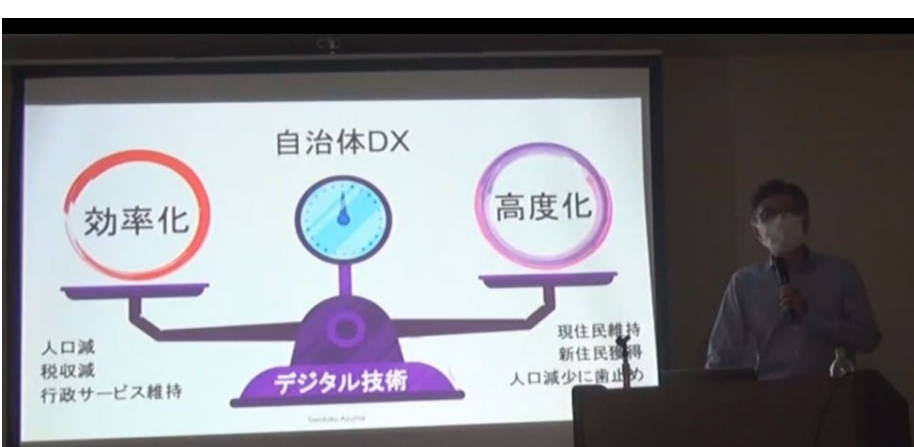
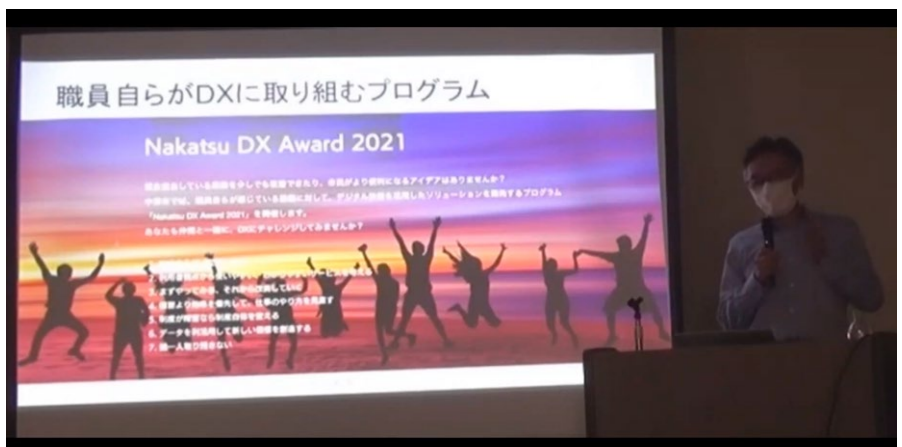
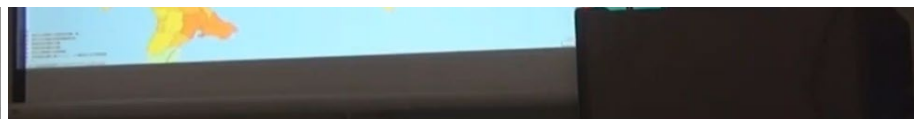
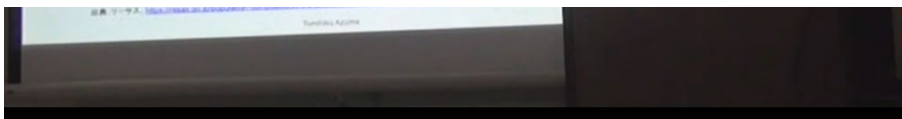
1-1.

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。







オンライン第2会場